



シルバー通信

第 49 号 (2019 年度)

発行：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

連絡先 (事務所)：〒540-0024

大阪市中央区南新町 1-3-11 高分子工学ビル 303

FAX：06-6941-6568

ホームページ URL <http://renkyo.sakura.ne.jp/>



就任 3 年目のあいさつ

大阪府 SA 連協 理事長 新鞍 清彦 (大阪市 SA 平成 22 年)

4 月に就任 3 年目の新鞍です。微力ながら大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会 (以下、府 SA 連協と表現) の発展に努める所存ですので、皆様方のご支援を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

今年度の府 SA 連協の活動方針について説明し就任 3 年目のご挨拶と致します。

府 SA 連協の平成 2019 年度活動方針は『地区 SA の活性化への貢献活動』です。

府 SA 連協は「地区 SA が元気になるように作られた組織」と理解します。そのためには地区 SA が活性化する方策は、①地区 SA の情報を吸い上げること、②府 SA が持っている情報と交換し合うことで、お互いの組織の相乗効果が期待されます。そのためには遠方から理事会に参加される地区 SA の参加者に有意義であったと感じていただける理事会を目指したいと考えます。

「地区 SA の活性化の為の府 SA の行動計画」

- 1、理事会の予定時間 2 時間を 1 時間は地区 SA の発表会か講演会に使い、残りの 1 時間は今までの通りの報告会とします。
- 2、ブロック会議で地区の悩みや問題点を共に話し合い解決策を見つけるよう努めます。
- 3、SA 活動の宣伝の為、行事の際には制服を着用して、横断幕か幟を掲示する様努めます。(制服着用、幟及び横断幕の掲揚運動)
- 4、大阪府 SA の最大の財産は「おもちゃ部会」「歌体操部会」の認識の下活動の輪を広げ、新規貢献先の開拓に努めます。
- 5、地区 SA の活動の源泉である委託金取得が大きな動機付けになります。委託金の情報や取得についての、相談に応じる様努めます。(広告先及び受託先の開拓に努めます)

「関連組織との関係の深化」

- ① SA 認定機関の大阪府福祉部高齢者介護室との月 1 回の報告など行い情報取得に努力する。又両者の関係強化することで SA を理解いただき、有効な助言を頂く様努力します。
- ② 高大と校友会の関係強化を図り高大 3 階の広報コーナーに受講生向けに、府 SA 連協専用のラックを新規なものを設置し地区 SA の広報チラシを置き、受講生の地区 SA の認知度を高め新入会員の増加を図る様努めます。
- ③ ONCC (NPO 法人大阪府北部コミュニティカレッジ) との関係維持し、新規入会者の増員を図る様努めます。(ONCC には交流授業等をこちらから企画提案をして実現したい。

- ④歌体操フェスタ、ブロック交流会等、各地区 SA に魅力ある活動を模索し具体化する様努めます。
- ⑤他の組織と共催イベントを模索し、具体化し定例化する様努め、委託金事業の増加に努力します。

例：ATC おもちゃフェスタ他

各地区 SA の皆様へ

地区 SA の皆様に於かれては、会員の高齢化が進む中で、新入会員の加入が叫ばれている現状を打破するには、地区 SA の魅力ある活動が肝要です。各地区 SA の理事さんを通じて、府 SA 連協へ具体的な提案をお願いします。他の地区 SA も其の成功例を参考にして、具体化して魅力ある地区 SA を作る努力をしましょう。

◆◆平成 30 年度活動報告◆◆

1. 運営全般

- (1) 各地区 SA の高齢化に対処するため、府 SA 連協としては地区 SA の活性化に寄与すべく一番重要な業務と位置づけます。特に、理事会開始前の時間を利用して各地区 SA の事例発表の場と講演会を約 50 分間持ち、地区 SA の情報交換の機会を増やし、地区 SA の行事事例の発表を参考にし、その発表事例を各地区 SA が良いところを採用して地区 SA の活性化に努める様にしました。今後も府 SA 連協の最重要事項として今後も継続し地区 SA の活性化に寄与したい。

(特に南、中、北グループのおもちゃ交流会と歌体操交流会は学ぶ点が多いので全部の交流会に参加し各地区の特徴をつかみました)

- (2) 行政機関・関係団体との関係強化を図る

高大、ONCC、区民カレッジ、府民カレッジの SA 養成講座生の全生徒の 5% 入会を図るべく取り組みましたが、その数字までは達成できませんでした。今後も、新規会員を受け入れる場合の新規貢献活動先の開拓と整備に努め、その為に積極的に意見具申や情報交換をしていく。また府高齢介護室との関係を強化した。

(各地区にできた府民カレッジとの交流を盛んにして、SA の会員の受け入れ素地を作ることが少しずつ出来つつありました)

- (3) 新規会員増の取組について

府 SA 連協全 20 地区 SA の会員が少しでも増すため、新規地区 SA (東大阪地区) の立ち上げを行い、会長も見つかり、今後会としての軌道に乗るべく引き続き応援して行く。

- (4) 貢献活動先の開拓 (幼稚園、小学校、老健施設、デイサービス施設、支援学校、物販店舗等) 新規貢献活動先の開拓には知人の紹介などで実現する早道なので、お互いに情報交換に努めた。藤井寺 SA では支援学校に関係を持つことができた、それは成功例の一つです (新規入会者の活動の場として多くの貢献活動先の構築は重要)

- (5) ニッセイ顕彰金制度について

今年も 6 地区が対象で実施された。昨年申請し抽選漏れの 4 団体は申請した結果、内定となった。今回で大阪府 SA 連協のほとんどの地区 SA が当選した。当選団体は会のユニホーム作ったり、ボランティアの資金に回したりして有効に使用している。

- (6) イベント等の委託事業 (広告も含む) について

委託事業を積極的に取り込み実施し、地区 SA 組織人がそのイベントに交流することでの活性化し、情報交換や提携も盛んになり組織の強化の効果が出来つつあるように思った。11月に行った ATC おもちゃフェスタが良い例、高槻 SA では地元企業から広告費として、20,000 円を受託した。今後もそれを参考例として受託事業を増やすよ

う各地区 SA にお願ひするようにします。

1-2 会議の開催状況

(1) 定例会

地区 SA 発表会及び講演会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 13:00~13:50 開催
理事会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 14:00~15:00 開催
役員会	毎月 1 回 理事会日 10:30~12:00 開催
ブロック交流会	年 6 回 理事会日の奇数月の午後 15:30 開催
各部門会	年 6 回 理事会日の偶数月の午後 15:30 開催

◆◆各部門会・部会の活動報告◆◆

◇渉外部（部門理事 6 名）◇

鈴木 紀男 (SA ひらかた 23 年)

渉外部

我が国の総人口は、平成 29(2017)年 10 月 1 日現在、1 億 2671 万人、65 歳以上人口は、3515 万人、高齢化率 27.7%になりました。前年白書から 56 万人の増加となっています。65 才人口は「団塊の世代」(昭和 22 年~昭和 24 年に生まれた人)が 65 歳以上となった平成 27 (2015) 年に 3387 万人となり、増加傾向が続きます。2042 年に 3935 万人でピークを迎え、その後は減少に転じるも高齢化率は上昇傾向にある。高齢者が高齢者を支えなければなりません。

シルバーアドバイザー（以下 SA と呼ぶ）の役割が地域の担い手として必要性が増大します。残念ながら各地区 SA も後継者不足に直面し、後継者不足を補う対策を講じてもその成果はなかなか表れません。

行政・諸団体との友好と、NPO 法人府民カレッジ・区民カレッジの世代間交流に協力し親睦を深めることが必要と考えます。本年度は地区の活動に注ぎすぎ、連協の活動が停滞いたしましたことお詫び申し上げます。

【活動事項】

1. 認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校「校友会」
2. SA 認定授与式
3. 大阪マラソン
4. コーダイ 10 周年フェスタ
5. 募集説明会
6. 校友会フェスタ



福祉 IT 部会（部会員 7 名 + サポーター） 榎本 龍彌 (SA いけだ 21 年)

IT 技術の利活用により、授産施設（障がい者のための福祉事業所）の認知度を高め、授産施設で作られる授産製品の販売を支援する福祉ボランティア活動を行う。

そのためにサイト「福祉夢ひろば」(<http://fukushi2yume.web.fc2.com>) を運営する。

① 例会／研修会

- ・定例会：9 回開催。原則として毎月第 4 月曜日 午後 1 時 30 分～
大阪市立総合生涯学習センター ネットワーク・ラボ

- ・福祉ボランティアの実践に関する相互研鑽とイベントへの参加準備を行った。

② 「福祉夢ひろば」に掲載する授産施設のページ更新と新規授産施設の開拓

- ・平成 30 年度は新規授産施設の開拓はなく、2019 年 3 月時点で授産施設 26 施設と授産ショップ 4 店をサイト「福祉夢ひろば」に掲載している。

③ イベント時に授産製品の展示・即売会を実施し、併せて 障がい者の、社会参加の推進を図った。

- ・第 41 回 障がい者作品展 (2018. 11. 17&18 ビッグ・アイ (堺市) で開催)
出店希望施設がないため、参加を断念した。
- ・総合フェスタ 2018 (2018. 11. 23 総合生涯学習センター (大阪市) で開催)
授産施設 3 カ所が出店し製品を展示・販売、ならびに 1 施設がモノ作り体験教室を実施した。さらに、3 施設の授産製品を出展／販売代行した。
売上高 約 58,000 円
- ・コーダイフェスタ 2018 (2019. 1. 22&23 大阪市中央体育館 (大阪市) で開催)
授産施設 1 カ所が出店し製品を展示・販売した。さらに、4 施設の授産製品を出展／販売代行した。売上高 約 49,000 円
- ・地域同窓会連協文化祭 (2019. 3. 1 メイシアター (吹田市) で開催)
授産施設 1 カ所が出店し製品を展示・販売した。さらに、4 施設の授産製品を出展／販売代行した。売上高 約 52,000 円

④ 広報活動

- ・会員の活動を相互に知らせあい、かつ外部にも発信すべく、福祉 IT 部会のブログ (<http://fukushi2yume.blog120.fc2.com>) を運営しているが、記事の更新はできなかった。
- ・ネットワーク・ラボ主催の大阪市民向け講座 (ネットワーク・サロン) で「簡単にできるブログ」講座を 2018. 7. 28 に実施した。例年 2 日間かけて実施している講座を 1 日 3 時間で実施し、良い評価を得た。参加者 (受講者) は 17 名。

⑤ ボランティア活動の終了

- ・SA 養成講座の修了生が中心となって福祉 IT 部会を発足させ、ボランティア活動を開始して 10 年になる。既に十分な期間活動してきたので、区切りの良い満 10 年の 2019 年 3 月末で活動を終了する。

◇交流活動部（部門理事 11 名）◇

今井 正三郎（SA 吹田平成 22 年）

交流活動部は、歌体操部会、おもちゃ部会、支援活動部会の 3 部会で運営している。各部会においては実技研修を行い、技術の向上を図るとともに、各地区のイベントの開催などで指導的役割を果たした。

- ①各ブロック交流会—各ブロックにおける歌体操交流会、おもちゃ交流会を各ブロックの SA 持ち回りで 3 回/年行った。
- ②SA 連協全体のイベントとして、歌体操関係では 3 月に SA 吹田担当で 398 名の参加を得て「SA 連協歌体操フェスタ 2019」を実施した。おもちゃ関係では 11 月に 2 日間「親と子どものおもちゃフェスタ」を ATC で開催した。盛況であった。
- ③各部会の活動状況は SA 連協理事会で毎月報告した。

◇各部会の報告◇

1 歌体操部会（部会員 16 名）藤川 安高（SA 吹田 19 年）

・歌体操部会活動報告

歌体操の会議と研修実技を通して各地区の歌体操の技術の向上と親睦を図り、更に中央研修会とも連携して活性化を図った。

- ①部会は毎月 1 回 年 12 回 第 4 月曜日 午前 10 時～12 時
前半会議と後半実技の研修行った。
- ②地域親睦と活性化を図る上でも各ブロックの交流会を年 1 回実施した。
 - ・北ブロック 箕面市サンプラザホール 8 階
 - ・中ブロック 大阪市阿倍野区民センター
 - ・南ブロック 羽曳野市民会館
- ③その集大成として大阪府下の歌体操仲間と「SA 連協歌体操フェス 2019」を 3 月に実施した。吹田市メイシアター 2 階中ホール
- ④部会活動の運営費を負担するため一部を有料化した。
- ⑤コーダイフェスタの演芸部門に部会として参加した。

歌体操部会活動（いずれも月曜日）

回数	月 日	時 間	場 所	出席数	内 容
第1回	平成 30 年 4 月 30 日	10:00 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第5研修室	17 名	自己紹介、活動計画、部会長・副部会長選出 地区別 交流会決める アンケート
第2回	5 月 28 日	10:00～1 2:00	大阪生涯学習センター 5 階第5研修室	14 名	北ブロック当番の実技研修
第3回	6 月 25 日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5 階第5研修室	16 名	南ブロック当番の実技研修

第4回	7月23日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5階第5研修室	15名	中ブロック当番の実技研修
第5回	8月27日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5階第5研修室	14名	北ブロック当番の実技研修
第6回	9月24日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5階第5研修室	9名	南ブロック当番の実技研修
第7回	10月22日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5階第4研修室	16名	中ブロック当番の実技研修
第8回	11月26日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5階第5研修室	15名	北ブロック当番の実技研修
第9回	12月10日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5階第5研修室	14名	南ブロック当番の実技研修
第10回	平成31年 1月28日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5階第5研修室	16名	フェスタ2019の役員選考 準備と 打ち合わせ
第11回	2月25日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5階第5研修室	16名	中ブロック実技研修・フェスタ2019 の役員の役割再確認
第12回	3月25日	10:00～ 12:00	大阪生涯学習センター 5階第5研修室	14名	一年の反省 来期への改善点
各ブロック地区歌体操研修交流会					
2018/10/19(金)		13:45～16:00	羽曳野市民会館	140名	南ブロック研修交流会
2018/11/16(金)		13:00～16:00	箕面市サンプラザホール	131名	北ブロック研修交流会
2018/12/3 (月)		9:30～12:00	大阪市阿倍野区民センター	81名	北ブロック研修交流会

府SA連協歌体操フェスタ

第10回	平成31年 3月14日 (木)	10:45～ 16:00	吹田市メイシアター中 ホール	424 名	歌体操フェスタ2019
------	-----------------------	-----------------	-------------------	----------	-------------

◆歌体操部会活動

- ・部会は月1回開催して、歌体操の実技を通して技術の向上を目指し、各地区順番に実技の発表を行い学ぶことが出来た。
- ・ブロック交流会（北、中、南）活動の一環として研修会を実施して、ブロック内の交流を図り、親睦を深めることが出来た。他の地区を見学することで繋がりが緊密になって良かった。
- ・全体のイベントとして、「大阪府 SA 連協歌体操フェスタ 2019」を実施した。

部会の活動日は月曜日で時間は、10～12 時、場所は大阪生涯学習センター5 階第 5 研修室。

・今後の課題：

歌体操も高齢者の指導者が増え今年は進め方も再検討する時期に来ている。



2 おもちゃ部会 (部会員 25 名) 島田 道子 (SA 守口 14 年)

部活動は会を重ねる度に活発化している。

部会員も増えてきている、その紹介での見学者は受け入れる。

ブロック別の おもちゃ交流会も各ブロック 特色ある研修会になっている。

6 月の作品「ヒンメリ」は 北欧フィンランドの伝統的な装飾品麦わらレリーフ。

- I ; 会場 大阪社会福祉指導センター 地下 1 階
- II ; 開催 おもちゃ部会 偶数月 第 2 火曜日 1 : 3 0 ~ 3 : 3 0
部会員は SA 入会者 その紹介での見学者は受け入れる。
- III ; 書記 会計を各ブロック代表で決定
書記 北ブロック長 柘本邦子 (SA 池田)
会計 中ブロック長 井上勝 (SA 八尾・柏原)
南ブロック長 松島登志子 (SA 堺)
- IV ; 講師 ブロック (南 中 北) ごとに講師
- V ; 会費 1 回 200 円 徴収

	月 日	作 品	講 師	参加人数
1	6 月 12 日	ヒンメリ	SA 池田 柘本 邦子 SA 豊中 西本 節子	18
2	8 月 21 日	帰って来たピエロ	SA 八尾柏原 井上勝	18
3	10 月 9 日	タオルの子犬 2 種類	SA 守口 島田 道子	14
4	12 月 11 日	トラック	SA 高槻 三橋 与作	15
5	2 月 13 日	おもしろキューブ	SA 河内長野 小柴好子	20
6	4 月 9 日	可愛い 5 匹の子犬 毛糸の人形	SA 守口 島田 道子	18

◆ブロックおもちゃ交流会

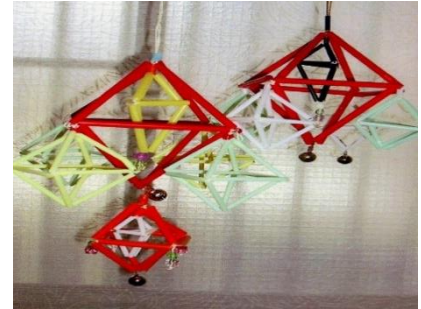
- ・南ブロック 9 月 22 日 人権文化センター

- ・中ブロック 10 月 15 日 ラポール枚方 11 月 3 日 寝屋川公園まつりに参加
- ・北ブロック 10 月 23 日 蛍池公民館

◆おもちゃ教室 奇数月 第 3 火曜日 1 : 3 0 ~ 3 : 3 0

- ・会 場 大阪社会福祉指導センター 地下 1 階

※教室はどなたでも興味のある方参加自由。



3 支援活動部会 (部会員 30 名) 木場 昭和子 (SA 大阪市 18 年)

当部会は、歌体操を継続させ、さらには発展させていくために必要な次期リーダーの育成と、高齢者施設への歌体操ボランティア活動のスキルアップに取り組んできた。

現在では高齢者施設へのボランティア活動も積極的に行っている。

- ・毎月 1 回第 2 木曜日 (13:30~15:30) に大阪市生涯学習センターの研修室で開催される中央研修会では、地区で推薦を受けた 26 名+役員 4 名が参加している。
- ・3 ヶ月に 1 回ぐらい外部講師にお越しいただき、新曲を 2~3 曲指導を受けていたが本年は講師の体調不良もあり 1 回お越しいただいた。あとは専任講師 (加藤さん) 副専任講師の (藤川さん) が指導に当たって下さり、参加者の皆さんの歌体操技術も向上する研修会となった。毎年開催される歌体操ブロック交流会・歌体操フェスタ等に出演するために新曲を地区研修会で しっかり練習をして、参加するのも一つの楽しみと見受けられます。
- ・支援活動部の運営費については、この 2 年間は助成金が厳しくなり歌体操に適用できる助成金がなかなか見つからない状態である。そこで参加者の、皆さんと話し合い皆さんから毎月 500 円の協力金を支払っていただき、中央研修会を持続している。
- ・私も今年 4 月で退任させていただきますが、今後も歌体操を各地区会長さんに理解していただき、発展させていただくことを願っております。



中央研修会 練習風景

◇広報部門（部門理事 5 名）◇

大川 正彦（SA 藤井寺 18 年）

【活動目的】

1. 府 SA 連協と地区 SA の架け橋となる広報活動を目指す。
2. 地域での SA 活動の知名度（認知度）の向上を目指す。
3. 関係団体との関係強化のツールとなる広報を目指す。
4. ホームページ、ブログなどネットでの広域活動、助成金情報などの共有化を目指す。

【活動報告】

1. 高大内にパンフレットスタンドの常設を維持し、受講生向けの連協パンフレットや地区 SA のチラシメンテを当番化し、更新配布を行った。
2. 広報誌「シルバー通信」の発行及び高大機関誌「れいんぼー」への寄稿を行った。
3. ホームページブログ等ネットワーク情報を活用しタイムリーな広報活動を行った。
4. 地区ホームページの更新推進を行った。
5. 関係団体の行事に参加会員募集の広報活動を行った。

◇各部会の報告◇

1 広報誌部会 部会員 4 名 大川 正彦（SA 藤井寺 18 年）

【活動目的】

1. 文書情報で対外、対内への情報発信（パンフレット、情報誌）
2. SA 連協ファンづくり会員募集（パンフレット、情報誌）
3. 地区 SA の活性化、先進活動の共有化（情報誌・PR チラシ等）

【活動報告】

1. シルバー通信発行前年度報告、当年度計画を年 1 回発行とする。（30 年 7 月発行）
2. 連協新パンフレット発行（31 年 1 月発行）
3. 外部団体イベント参加 高大修了式、コーダイ 10 周年フェスタ、校友会フェスタ
ONCC 修了式 各コーナにて SA 連協 PR
4. 認定 NPO 法人高大機関紙「れいんぼー」に、府 SA 連協より寄稿し、受講生への PR 活動を行った。
 - ・れいんぼー 40 号（1 月発行）新年あいさつ（30 年 1 月）
 - ・れいんぼー 41 号（4 月発行）新入生祝辞 SA 連協紹介（31 年 4 月）

2 ブログ研究部会（部会員 8 名）松本 勉（SA 茨木 19 年）

【活動目的】

ブログを使って、府 SA 連協および各地区 SA の日常活動をタイムリーに、ビジュアルに、見やすく提供する。そのためのスキル向上を目指す。

【活動報告】

1. 地区ブログ要員の拡大・普及とスキル習得のため、熟練講師に依頼してブログ研究会のスキル向上強化を図る。

2. 部会員の親睦と日常の課題の共有化を図るため、研修会後の親睦会を定着化する。
3. ホームページの紹介、SA 会員のグループや個人のブログ。

3 ホームページ管理部会 (理事長、広報部長)

【活動目的】

1. 府 SA 連協の情報の交差点としてのホームページを目指す。
2. ホームページの刷新を図る。

【活動報告】





1. 地区概要ホームページ 30 年度更新 12 地区協力を得る。31 年度はフォーマット作成。
2. 連協ホームページに「広報トピックス」コーナ設け・SA 連協行事報告 ・SA 連協行事予定を更新する。
3. 地区 SA の依頼原稿に基づいて地区チラシ等を更新する。

【今後の課題】

1. 地区ブログ更新推進。
2. 地区の概要 (HP) の更新 31 年度推進。
3. ホームページ、アップデートの迅速化。(広報トピックス)



①高大修了生説明会 ②コーダイフェスタ ③校友会フェスタ ④高大スポーツ大会

第2号議案:平成30年度収支報告並びに監査報告				
平成30年度大阪府SA連協会計決算				
期間(平成30年4月1日～平成31年3月31日)				
収入の部				
科目	29年実績	30年予算	30年実績	備考
前年度繰越	196,370	74,643	74,643	
会費	170,200	170,000	162,000	200円×810人
利息	2	2	1	
寄付・雑収	42,400	67,000	248,743	大和リース、ポーラ
ATCおもちゃイベント	200,000	150,000	180,000	
広報誌広告収入	49,136	30,000	30,000	ポーラ
収入合計	658,108	491,645	695,387	
支出の部				
活動費	44,000	50,000	47,000	理事・役員交通費
負担金	18,000	8,000	8,000	SAネット大阪、府社協VC登録代
事務費	81,299	40,000	34,157	会場費、コピー代他
歌体操	30,000	30,000	30,000	
おもちゃ	15,000	15,000	15,000	
ブログ・ホームページ	29,500	50,000	63,259	
福祉IT	12,000	12,000	12,000	
シルバー通信	74,900	60,000	49,085	
PR資料他	18,189	10,000	25,622	PRチラシ他
おもちゃイベント経費	221,759	110,000	182,707	ATC、東大阪フレスポ他
予備費	38,818	20,000	20,000	講演会謝礼
支出合計	588,108	405,000	486,830	
繰越金	74,643	86,645	208,557	
合計	658,108	491,645	695,387	
新鞍清彦理事長殿				
以上の通り今年度の会計決算を報告します。				
		平成31年4月4日		
		事務局長 木場昭和子		
		会計 下川順夫		
		会計監査報告書		
上記、会計に関する帳簿、証拠書類、現金等につき厳正に監査致しました。				
その結果、適正に的確に処理され正確であることを証し、ここに報告します。				
		平成31年4月3日		
		会計監査 高林光睦		
		会計監査 中川明子		

◆2019 年度 活動計画◆

— 平成 2019 年度役員体制 —

理 事 長	新 鞍 清 彦	22 年	大阪市
副理事長兼渉外部長	鈴 木 紀 男	23 年	ひらかた
副理事長兼交流活動部長	今 井 正三郎	22 年	吹田
副理事長兼広報部長	大 川 正 彦	18 年	藤井寺
副理事長兼事務局長	中 島 英 征	19 年	茨木
会 計	下 川 順 夫	17 年	高槻
書 記	元 坂 道 幸	10 年	河内長野
事務局次長	澤 和 夫	13 年	茨木
事務局次長	笠 原 俊 生	30 年	大阪
会計監査	中 川 明 子	17 年	いずみ
〃	高 林 光 睦	20 年	四条畷
健康管理部会長	笠 原 俊 生	30 年	大阪
歌体操部会長	梶山 良子	11 年	大阪
おもちゃ部会長	島 田 道 子	14 年	守口
広報誌部会長	大 川 正 彦	18 年	藤井寺
ブログ研究部会長	松 本 勉	20 年	茨木
顧問	木 場 昭和子	18 年	大阪市
事務局補助（会議室）	戸 田 喜美代	21 年	箕面・豊能



交流活動部



広報部



渉外部

◆◆2019 年度活動方針◆◆

—地区 SA の活性化への貢献活動—

理事長 新鞍 清彦 (大阪市 SA 平成 22 年)

- (1) 各地区 SA の高齢化に対処するため、府 SA 連協としては地区 SA の活性化に寄与すべく一番重要な業務と位置づけます。特に、理事会開始前の時間を利用して各地区 SA の事例発表の場と講演会を約 50 分間持ち、地区 SA の情報交換の機会を増やし、地区 SA の行事事例の発表を参考にし、その発表事例を各地区 SA が良いところを採用して地区 SA の活性化に努める様にします。(特に南、中、北グループのおもちゃ交流会と歌体操交流会は学ぶ点が多いので多くの参加が必要と思います)
- (2) 行政機関・関係団体との関係強化を図る
高大、ONCC、区民カレッジ、府民カレッジの SA 養成講座生の全生徒の 5% 入会を
図るべく取り組む。新規会員を受け入れる場合の新規貢献活動先の開拓と整備に努め、
その為に積極的に意見具申や情報交換をしていく。また府高齢介護室との関係を強化
する。(各地区にできた府民カレッジとの交流を盛んにして、SA の会員の受け入れ素地
を作ることが必要)
- (3) 新規会員増の取組について
府 SA 連協全 20 地区 SA の会員が少しでも増すため、新規地区 SA (東大阪地区) の
立ち上げ補強する。
- (4) 貢献活動先の開拓 (幼稚園、小学校、老健施設、デイサービス施設、支援学校、物販
店舗等) 新規貢献活動先の開拓には知人の紹介などで実現する早道なので、お互いに
情報交換に努める事。(新規入会者の活動の場として多くの貢献活動先の構築は重要で
す)
- (5) ニッセイ顕彰金制度について
今年も 6 地区が対象で実施される予定。についてはその 50,000 円の資金を利用してイベ
ントの計画を実施の事。
- (6) イベント等の委託事業 (広告も含む) について委託事業を積極的に取り込み実施する
ことで、地区 SA 組織の活性化に努める。(今年は、特に提携を盛んにして組織の強化
に努めること)

◆活 動 計 画◆

(1) 定例会

地区 SA 発表会及 び講演会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 13:00~13:50 開催
理事会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 14:00~15:00 開催
役員会	毎月 1 回 理事会日 15:00~17:00 開催
ブロック交流会	年 6 回 理事会日の奇数月の午前 10:30 開催
各部門会	年 6 回 理事会日の偶数月の午前 10:30 開催

◇ 渉 外 部 ◇

鈴木 紀男 (SA ひらかた 23 年)

【活動目的】

30 年度活動報告の冒頭にでも申し上げましたが、我が国の総人口は、平成 29(2017)年 10 月 1 日現在、1 億 2671 万人、65 歳以上人口は、3515 万人、高齢化率 27.7%になりました。前年白書から 56 万人の増加となっています。65 才人口は「団塊の世代」（昭和 22 年～昭和 24 年に生まれた人）が 65 歳以上にとなった平成 27（2015）年に 3387 万人となり、増加傾向が続きます。2042 年に 3935 万人でピークを迎え、その後は減少に転じるも高齢化率は上昇傾向にある。高齢者が高齢者を支えなければなりません。

60 歳以上の高齢者の社会参加活動の動向は、28 年度内閣府の調査では 39%の方が自治会、子育て支援等にボランティア活動に携わっているようです。決してボランティア活動の方が少ないとは言えないかもしれませんが。活動に携わっていない方の引きこもり対策に私共の SA 連協と地域の構成団体に何が出来るかを考える必要を感じます。

認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校・NPO 法人府民カレッジ・区民カレッジ・北部カレッジの世代間交流に協力し、親睦を深めることにより会員の増員を計る事が必要と考えます。

【活動予定】

1. 認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校「校友会」
2. 高大、区民・府民カレッジの SA 認定授与式
3. 高大祭・高大スポーツ交流大会
4. 入学式・修了式の理事長出席
5. 高大グループへの会員募集説明会
6. 大阪マラソン
7. 大阪女子マラソン
8. 北部カレッジとの交流
9. 行政機関の定期訪問
10. 助成金等の情報収集

【福祉 IT 部会】

充分な期間活動をしてきたので、区切りの良い満 10 年の平成 31 年 3 月末で活動を終了した。

☆健康管理部会

笠原 俊生 (大阪市 SA 30 年)

【活動目的】

高齢社会の進行により、食生活の乱れ、運動不足、人との交流不足などの現象が多く見られるようになり、健康管理の正しい知識が必要とされています。それらの健康管理の知識の普及のための講演会の開催

【活動計画】

- ① フレイルの知識の普及
 - ・ 区民カレッジ、府民カレッジでの講演会を通じた健康管理の知識の普及に努めます。
 - ・ 地区 SA の要望に応え出前の講演を行います。
- ② 講師／サポーターの活動能力のレベルアップ
 - ・ 講師の増員に関する相互研鑽を行う。
 - ・ サポーターの能力アップのため他の講演会を受講する。
- ③ 外部関係機関との連携と広報活動・認定 N P O 法人高齢者大学校のコーダイフェスタに参加して健康管理の広報に努める。
 - ・ 大阪府高齢介護室との連携に努め、情報収集を図る。
 - ・ 認知症関連団体と連携を深め講演活動の情報を得る。

【活動予算】（申請額）

- ・ 10,000 円（ネットワーク・ラボの会議室年間使用料 18,600 円の内、8,600 円は部会の自己負担とする）

◇交流活動部◇

今井 正三郎（SA 吹田 22 年）

【活動目的】

交流活動部の組織力を強化するために、各地区 SA の交流を活性化する。

【活動計画】

1. 歌体操部会、おもちゃ部会の勉強会、研修会を実施し、技術の向上を図る。
 - ・ 歌体操部会は、毎月 1 回第 4 月曜日に開催する。
 - ・ おもちゃ部会は、偶数月第 2 火曜日に 1 回、おもちゃ教室は奇数月に 1 回開催する。
2. 歌体操部会、おもちゃ部会の北ブロック交流会、中ブロック交流会、南ブロック交流会を年 1 回開催する。各交流会は各担当地区持ち回りで実施する。
3. 全体の歌体操イベントとして、「大阪府 SA 連協歌体操フェスタ 2019」を 3 月頃に開催する。大阪府下全域から出演者を募集する。
4. 全体のおもちゃ関連イベントは大阪市主催の「親と子どもフェスタ」に参加する。

【SA 連協及び部会員の財政改善】

- ・ 部会活動の一部を有料化する。会費は各部会で必要に応じて決定する。歌体操部会の一層の活性化を図るための体制を部会員の話し合いで作る。部会員の部会費及び交通費の負担を最小限にするための配慮を検討する。大阪府 SA 連協フェスタの開催は各地の負担を減らす方法を模索する。

◇各部会計画◇

☆ 歌体操部会 梶山 良子 (大阪市 SA11 年)

【活動目的】

歌体操の会議と研修実技を通して各地区の歌体操の技術の向上、普及、親睦を図っていく。

【活動計画】

1. 部会は毎月 1 回 年 12 回 第 4 月曜日 午前 10 時～12 時
前半会議と後半実技の研修を行う。
2. 地域親睦と活性化を図る上でも各ブロックの交流会を年 1 回は実施する。
3. その集大成として大阪府下の歌体操仲間と「SA 連協歌体操フェス 2020」を 3 月に実施する。
4. 部会活動の運営費を負担するため一部を有料化する。
5. 他の行事等に部会として積極的に参加する。

☆ おもちゃ部会 島田 道子 (SA 守口 14 年)

【活動目的】

各地区の活動の活発化、情報共有を図るとともに親睦を深めたい。

【活動計画】

従来通り隔月 1 回、部活動を実施する。

講師を新しい方をお願いする事によって、新講師の発掘及び講師の養成を図る。

部会員の活動の実践場所を広げ、イベントなどに部会として参加できるようにする。

おもちゃ委員と同時に SA 会員なら一人でも多く参加していただくようにする。

おもちゃ教室とも交流活動を活発化したい。

I ; 会場 大阪社会福祉指導センター 地下 1 階

II ; 開催 おもちゃ部会 偶数月 第 2 火曜日 PM 1:30～3:30
(おもちゃ教室 奇数月 第 3 火曜日 PM 1:30～3:30)

III ; 副部長 書記 会計を各ブロック代表で決定

IV ; 講師 ブロック (南 中 北) ごとに講師をお願いする

V ; 会費 昨年度と同様に 1 回 200 円 徴収

◇ 広 報 部 ◇

大川 正彦 (SA 藤井寺 18 年)

【活動目的】

1. 府 SA 連協と地区 SA の架け橋となる広報活動を目指す。
2. 地域での SA 活動の知名度 (認知度) の向上を目指す。
3. 関係団体との関係強化のツールとなる広報を目指す。
4. ホームページ、ブログなどネットでの広域活動、助成金情報などの共有化を目指す。

【活動計画】

1. 高大内にパンフレットスタンドの常設を維持し、受講生向けの 連協パンフレットや地区 SA の PR チラシを当番制でメンテ展示する。
2. 広報誌「シルバー通信」の発行及び高大機関誌「れいんぼー」への寄稿協力をする。
3. ホームページブログ等のネットワーク情報を活用しタイムリーな広報活動を目指す。
4. ホームページ、ブログなどネットでの広域活動・助成金情報などの共有化を目指す。

◇ 各部会計画 ◇

☆ 広報誌部会 大川 正彦 (SA 藤井寺 18 年)

【活動目的】

1. 情報誌・PR チラシ等の文書情報での情報発信
2. SA ファンづくり、情報誌・連協パンフレット・地区 PR チラシ等で行う。
3. 地区 SA の活性化、先進活動の共有化 (情報誌・PR チラシ等)

【活動計画】

1. 府 SA 連協「シルバー通信」(前年度報告、当年度計画) を年 1 回発行する、(7 月予定)。
2. コーダイ機関誌「れいんぼー」に校友会員として寄稿する、年 2 回 (1 月、3 月予定)。
3. 府 SA 連協 PR パンフレット、地区 SA のチラシ更新随時行い、高大関連行事、ONCC 関連行事、校友会関連行事等での募集活動に利用。

☆ ブログ研究会 松本 勉 (SA 茨木 19 年)

【活動目的】

1. ブログを使って、府 SA 連協および各地区 SA の日常活動をタイムリーに、ビジュアルに、見やすく提供する。そのためのスキル向上を目指す

【活動計画】

1. 地区ブログ要員の拡大・普及とスキル習得のため、講師に依頼して、ブログ研究会のスキル向上強化を図る。
2. 部会員の親睦と日常の課題の共有化を図るため、研修会後の午後、ブログ交流会の定着化を行う。

☆ ホームページ管理部会 理事長・広報部長

【活動目的】

1. 府 SA 連協の情報の交差点としてのホームページを目指す。

【活動計画】

1. 地区概要ホームページ 30 年度更新 12 地区協力を得るが、31 年度はフォー
マット作成により一層の推進をする
2. 連協ホームページに「広報トピックス」コーナーを設け、SA 連協各部門・渉外、
・交流活動、・広報、の行事報告、行事予定を更新する。
3. 地区 SA の依頼原稿に基づいて随時、地区チラシ等を更新する。

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会理事



NO	地区名	氏 名	役職	入会年
1	大阪市 SA	新鞍 清彦	理事長	22 年
	〃	梶山 良子	歌体操部会長	11 年
	〃	笠原 俊生	健康管理部会長	30 年
2	SA とよなか	松尾 博子		21 年
3	SA 池田	和佐 義顕		19 年
4	SA 箕面・豊能	山下 由起		21 年
5	SA 吹田	今井 正三郎	交流活動部長	22 年
6	SA 茨木	中島 英征	事務局長	19 年
	〃	澤 和夫	事務局次長	14 年
7	SA 高槻	下川 順夫	会計	17 年
8	SA 守口	島田道子	おもちゃ部会長	14 年
9	SA 寝屋川連絡会	森田 展生		7 年
10	SA ひらかた	鈴木 紀男	渉外部長	23 年
11	SA 交野連絡会	田中 暁子		12 年
12	SA 四条畷	佐木 晃		27 年
13	SA 大東の会	池田 順二郎		20 年
14	SA 東大阪	島野 純一		31 年
15	SA 八尾・柏原	二葉 登代子		15 年
16	SA はびきの	松田 嘉威		19 年
17	SA 藤井寺	大川 正彦	広報部長	18 年
18	SA 河内長野	元坂 道幸	事務局次長	10 年
19	堺 SA 連協	上山 乃婦子		20 年
20	いずみ SA	中川 明子		17 年

平成 31 年度大阪府 SA 連協会計予算

期間(2019 年 4 月 1 日～平成 2020 年 3 月 31 日)

科目	2018 年実績	2019 年予算	備考
収入の部			
前年度繰越	74,643	208,557	
会費	162,000	156,000	200 円×780 人
利息	1	1	
寄付・雑収	248,743	56,000	
ATC おもちゃイベント	180,000	180,000	
広報誌広告収入	30,000	30,000	
収入合計	695,387	630,558	
支出の部			
活動費	47,000	50,000	理事・役員交通費
負担金	8,000	8,000	SA ネット大阪、府社協 VC 登録代
事務費	34,157	40,000	会場費、コピー代他
歌体操	30,000	82,355	研修費、歌体操フェスタ補助金
おもちゃ	15,000	15,000	研修費
ブログ・ホームページ	63,259	60,000	
健康管理部	0	10,000	
福祉 IT	12,000	0	
シルバー通信	49,085	50,000	
PR 資料他	25,622	20,000	PR チラシ他
おもちゃイベント経費	182,707	180,000	
予備費	20,000	15,000	講演会謝礼・他
支出合計	486,830	530,355	
繰越金	208,557	100,203	
合計	695,387		



編集後記 令和元年 (2019 年 5 月 1 日) 「初春の令月」

「初春令月にして、気淑（よ）く 風和ぎ、梅は鏡前の粉（こ）を披（ひら）き蘭は珮後（はいご）の香を薫（かおら）す」年号が変わり新しい年が始まりました。3 年目を迎える新鞍理事長の「地区 SA の活性・府 SA 連協アクションプラン」併せて「関連組織との深化」のスローガンのもと令和にふさわしい何事をするにも、良い月、良い年、穏やか年を期待し激しい変化の年を乗り切り「老いるショック」に強いフレイル対策もお忘れなく… シルバー通信 49 号をお届けします。広報 M.O

人口の 3 分の 1 が高齢者となる時代、
誰もが **認知症・認知症予防** と向き合う知識を。



エム シー アイ MCI 専門士

一度かかると完治が難しいとされる認知症において、何より重要なのは「かからないこと」。
認知症の手前である MCI (軽度認知障害) 段階での予防について、一人一人が
正しい知識を身に付け、予防に努めていくことが大切です。



「MCI 専門士」とは？

認知症・認知症予防に関する知識を
基礎から分かりやすく、
どなたでも学べる**専門講座**です。

- ▶ 認知症に関する基礎知識
- ▶ 認知症にかからないための予防法
- ▶ 現代の認知症予防の現状 など、
認知症について広く学ぶことができます。

★本講座では、とくに MCI (軽度認知障害) の重要性に着目し、認知症予防に重点を置いた講義を行っています

資格も取れる？

1 日の受講で、認知症予防に特化した
「**MCI 専門士資格**」を
取得することができます。

ご自身・ご家族のための認知症対策
はもちろんのこと、認知症予防に関連
したビジネスや社員の認知症予防、セミナー等
にも活用できる専門資格が、1 日の受講で取得
できます。

MCI 専門士 資格取得講座

(1 日コース / 約 7 時間)

【受講料】 20,000 円 (税別) テキスト・教材費込み

【年会費】 不要 (3 年更新制)

お問合せ、お申込みはホームページから▶
(TEL) 06-6195-8646



ご自身・ご家族の
認知症対策に



ビジネスに役立つ
知識習得に



認知症予防に取り組む
方々をサポート

チェック
してみよう！

その症状は「**認知症**」？「**加齢による物忘れ**」？

人や物の名前が
出てこない

- A. 誰かに聞けば
「そうだ」と気付く
- B. 教えてもらっても
理解できない

用事を忘れる

- A. 詳細を忘れても、用事が
あったこと自体は覚えている
- B. 用事があったこと自体を
忘れて別の事をしてしまう

生活への影響

- A. 生活に支障が出る
ほどの物忘れはない
- B. 生活に支障が出るほど
物忘れが目立つ

認知症である可能性は低いでしょう。
将来、認知症の手前である MCI に進
行しないよう、食生活や運動習慣に気
を付け、現在の認知機能を維持できる
ようにしましょう。

認知症、もしくは MCI の症状である可
能性が高いです。自覚症状がなくとも
周囲からの指摘はありませんか？ 予防
に努めると同時に、一度専門の医療機
関で受診されることをおすすめします。



一般社団法人
日本認知症予防協会

MCI 専門士は一般社団法人 日本認知症予防協会がサポートしています。